

【声に出して読む】 俳句 与謝蕪村 四

夏河を 越すうれしさよ 手に草履

なつかわを こすうれしさよ てにぞうり

雪の朝 二の字二の字の 下駄の跡

ゆきのあさにのじにのじの げたのあと

古郷や 臼の音して 夜半の冬

ふるさとや うすのおとして よわのふゆ

荒海や 佐渡によこたふ 天の川

あらうみや さどによこたう あまのがわ